



主力欠いても 圧倒的攻撃力

興南

ハンドボールの第46回県高校選手権大会最終日は24日、八重瀬町東風平運動公園体育館で男女の決勝を行い、男子は興南が32-20で那覇西を破り、5連覇を達成した。女子は那覇西が29-22で陽明を下し、3連覇を飾った。

○…攻撃力で那覇西を圧倒した興南。主力2人を欠いた分を比嘉成希、福田浩大らが補い、選手層の厚さを見せつけた。前半でリードを発揮。俊敏な動きで守備

主力欠いても 圧倒的攻撃力

興南

に切れ込み「単調にならないよう左右のコースを突いた」という、フェイントを織り交ぜながらのシュートは効果的だった。マークが厳しくなるドラリ一の屋比久浩からヘーパス。守備を引き付けて好機をつくり出した。

○…那覇西は、主将の由浅日香里を中心堅い守備からの速攻で主導権を握った。体を密着させ、相手を徹底マーク。パス回しが立てた陽明からパスカットし、攻めに転じた。由浅は速攻の起点となる新チームについて黒島宣昭監督は高さが魅力。それを生かした試合運びができるよう体力、技術を鍛えていきたい」と期待を込めた。

	【男子】		
興南	32	16	16
那覇西	20	12	8
▽決勝			
那覇西	29	15	14
【女子】	22	12	10
那覇西	陽明	22	10
▽決勝			

興南▼5 那覇西 女子3連覇



那覇西一陽明 チームの要として攻守で活躍した
那覇西の由浅日香里⑯

につなげた。由浅は自らも5得点を奪う活躍。右膝を痛めながらの出場だったが「チームを引っ張ることだけを考えていた」と奮起した。

佐久川奈津希、大城沙也らも素早いパス回しから相

手のマークをずらすと、最

後に個人技を絡めて得点を

た。

下地保監督は「守備、攻撃ともにうまくかみ合った」と3連覇を成し遂げた選手らをたたえた。

奪った。